

かめっ子だより No.190

令和8年2月9日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

インフルエンザ患者数が急増！ 再び猛威を振るう！？

6日(金)、厚生労働省は1月26日～2月1日のインフルエンザ発生状況を発表しました。この1週間における定点医療機関からの報告数は「114,291人」です。年明け以降増加傾向が続いており、昨年12月中旬以来、再び10万人を超えました。インフルエンザによる学年閉鎖や学級閉鎖などの対応をとっている学校も急増し、特に休校は前週の4倍以上に増加しています。

2月6日『ウェザーニューズ』より

上記の記事の通り、全国的にインフルエンザが猛威を振っています。2日(月)、八尾市立小中学校で学級閉鎖の措置をとった数はなんと、19校31クラス。さらに4校6つの学年で学年閉鎖となっていました。亀井小学校でも2年2組を学級閉鎖としました。2年生は、5日(木)から登校再開しましたが、今度は1年1組が10日(火)まで、4年4組、5年3組、5年4組が11日(水)まで学級閉鎖となりました。

インフルエンザは、例年であれば年明けにかけてさらに患者数が増える傾向にありますので、引き続き、こまめな手洗い、消毒、咳エチケット等を継続して、感染予防に努めてください。ご家庭でもご協力いただき、基本的な感染症対策の徹底をお願いします。



9年間を見据えた教育を！ 亀井中学校区 校区交流会

2日(月)、竹淵小学校と亀井中学校の先生方が来られ、中学校区の校区交流を行いました。

5時間目は、公開授業。学級閉鎖になったクラスもありましたが、全学年を観ていただきました。「落ち着いた雰囲気の中で授業が行われていた」「2年生の子どもたちがタブレットを使いこなしているのを見て驚いた」等の感想をいただきました。

子どもたちが下校した後は、国語部会・算数数学部会・英語部会・児童生徒交流部会・生活指導部会・人権教育部会・特別支援教育部会・健康教育体育委員会・事務部会・養護栄養部会の分科会ごとに分かれ、亀井中学校区の小中一貫教育に関して意見交流を行いました。

今後も、小中9年間を見据えた教育を校区の教職員が一丸となって進めてまいります。

